

DAIKEN ダイライト軒天45

施工説明書

施工業者様用

P1~14

取扱説明書

お施主様用

P15

ダイライト軒天30とは混使用できません。ご注意ください。

「施工業者様へのお願い」

弊社では、お施主様へのお願い事項や注意事項などの重要な内容を記載した「取扱説明書」を添付しております。必ずお施主様に手渡していただくようお願いします。

取扱説明書は弊社HP <https://www.daiken.jp/> よりダウンロードも可能です。



*所定の性能を得るため、施工説明書および認定書の別添の内容に準拠し施工してください。

軒裏準耐火構造の大臣認定書は弊社ホームページからダウンロードできます。
トップページから[D-Cata]に進んでください。
URL: <https://www.daiken.co.jp>

目次

•必ずお守りいただきたいこと	・・・P1	•施工方法(木下地の場合) 出隅部	
•製品仕様・物性表	・・・P2	•出隅の野縁組と留付け図	・・・P9
•施工上の留意点	・・・P3	•軒天材の留付けと補修方法	・・・P10~11
•材料表	・・・P4	•品番表 補修・着色部材、施工部材	・・・P12
•施工方法(木下地の場合) 一般部	・・・P5~6	•施工方法(鋼製下地の場合)	
•通気見切り金物BM2を使用する場合		•姿図、施工要領	・・・P13
•換気金物BK45を使用する場合		•施工部材、施工要領	・・・P14
•軒裏換気部材を使用しない場合		•取扱説明書	・・・P15
•準耐火構造認定を使わない場合			
•施工方法(木下地の場合) 一般部	・・・P7~8		
•軒天換気材(軒先・壁際タイプ)を使用する場合			

警告表示の種類と内容

- 準耐火構造認定は木造下地専用です。鋼製下地では準耐火構造認定が使えません。
所定の性能を得るため、またトラブルなく確実に施工していただくため、施工方法をよく読んでください。

- 危険の定義とシンボルマーク

	警告	誤った取扱いにより死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの
	注意	誤った取扱いにより傷害または家屋、家財などの損害に結びつくもの

- 警告図記号について

本文中で使われている図記号の意味は、次のとおりです。

	「してはいけないこと」を示します。
	「注意すること」を示します。
	「必ず行なっていただくこと」を示します。

DAIKEN株式会社

250926-DO-37S

Ver.2.4

(本資料は、予告なく改訂する場合がありますので、ご了承ください)

ダイライト軒天45

必ずお守りいただきたいこと

	警告	誤った取扱いにより死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの
---	-----------	-------------------------------

【施工上の警告】

- 高所で作業する場合は、しっかりとした足場を組み、通行部分の邪魔なものを片付けてから作業してください。
- 高所で作業する場合は、必ず落下防止措置を取ってから作業してください。
- 物干しフック、防犯カメラ、照明器具などを取り付ける場合は、野縁などの下地に取り付けてください。野縁ではなくダイライト軒天45に固定した場合、落下する危険性があります。

	注意	誤った取扱いにより傷害または家屋、家財などの損害に結びつくもの
---	-----------	---------------------------------

【運搬・搬入・堆積・在庫に関する注意】



- ユニックやクレーンを使用する場合は、一山ごとに作業し、必ずワイヤーロープなどを2本掛けし、ロープ傷が付かないように角当てをしてください。
- リフトを使用する場合は、一山ごとに作業し、ツメで損傷しないように十分注意してください。(ツメで製品を押ししたり、ひきずらないようにしてください。)
- 手おろしする場合は、欠け防止のため取扱いに十分注意して2名以上でおこなってください。(構造用合板と同様な扱いではなく、丁寧に取り扱いってください。)
- PPバンドを持たないでください。サネが破損する恐れがあります。
- 製品を積置きする場合は、「ダイライト軒天45」の変形を防ぐため、直接地面と接しないように台木の上にさらに敷板をのせ平置きしてください。(台木は、高さのそろったものを使用し600mmに1本以上の割合で、均等に4本以上入れてください。)また、雨、直射日光が当たらないようにシート掛けをおこなってください。
- 表面のキズや汚れを防止するために、最上面の板は裏がえしにしてください。
- 化粧シート品はキズや汚れがつかないように注意してください。
- 原則は屋内に保管し、軒先に置く場合は雨、直射日光が当たらないように必ずシート掛けしてください。
- 現場塗装品40枚/ロットの保管は、4段積以下としてください。
- 化粧シート品は1パレットあたり10梱(4枚/梱)または30梱(2枚/梱)とし、パレットは2段積以下としてください。

【施工に関する注意】



- 次ページ以降の施工要領を厳守してください。
- ダイライト軒天45の裏面シートは切り口が鋭くなっていますので、手や体を傷つけないようにご注意ください。
- SDSのご請求は、弊社営業担当者にお問合せください。

【廃棄に関する注意】



- ダイライト軒天45を廃棄するときは、「廃棄物の処理および清掃に関する法律」に従い適正に処理してください。詳細は各自治体にご確認ください。
- SDSのご請求は、弊社営業担当者にお問合せください。

■製品の品質保証について

製品名	保証事項	保証期間			
		保証箇所	保証対象となる不具合現象	起算時期	
ダイライト軒天45	外観上の著しい ^{※1} 変形が生じないこと	基材	変形(垂れ)	施工完了後	2年

※1:「著しい」の定義 → この施工説明書に則った施工のもとで、経過時間を考慮し客観的に見て、通常の状態から逸脱している度合いがきわめて大きいことをいいます。

ダイライト軒天45

物性表

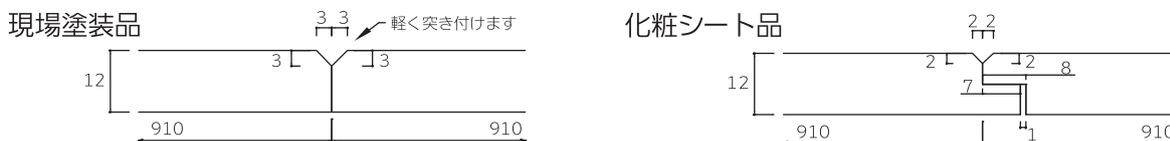
ダイライト軒天45物性表

	ダイライト軒天45	
	現場塗装品	化粧シート品
表面加工・化粧	目止め処理	木目調シート
裏面加工	バツカー貼り	
不燃性(不燃材料)	NM-4449	NM-4448
厚さ mm	12	
製品サイズ mm	幅910×長さ1,820	
比重 — ★	0.60	
重量 kg/m ² ★	7.2	
※ 吸水率 % ★	15以下	
※ 厚さ変化率 % ★	10以下	
※ 長さ変化率 % ★	0.20以下	

★自社測定値であり、数値を保証するものではありません。

※気乾状態→吸水24hrの変化率

目地形状図



軒裏準耐火構造(45分)の認定番号

認定番号は換気部材の種類によって異なります。使用する換気部材が対応する認定を使用してください。

認定番号	換気部材
QF045RS-0298	換気部材なし
QF045RS-0300	通気見切り金物(BM2)(日本化学産業(株)製)
QF045RS-0299	換気金物(BK45)※
QF045RS-0356-1	軒天換気材(軒先・壁際タイプ)(城東テクノ(株)製)※

※ 指定の金物以外は、準耐火構造に使用できません。

軒裏準耐火構造(45分)の適用条件

野縁	木製 ※詳細な材質・寸法などは次ページ以降を確認してください。 野縁レス工法には適用できません。	
吊木	軒の出500mmを超える場合	軒の幅方向1,000mm以下の間隔 軒の出方向500mm以下の間隔
軒形状	勾配軒 / 水平軒(地面と平行)	
外壁との取合い部	軒天材勝ち / 外壁勝ち	※通気見切り金物は軒天材勝ちのみ
軒の出 (外壁材から ダイライト軒天45の 軒先端までの水平距離)	ダイライト軒天45単体 55~2,000mm以下 BM2を使用した場合 120~2,000mm以下 BK45を使用した場合 53~2,000mm以下 軒天換気材(軒先・壁際タイプ)を使用した場合 100~2,000mm以下	※ 軒の出が大きい勾配軒では、ダイライト軒天45の継ぎ足しが必要になる場合があります。
軒天材の留め付け材 フィンッシュネイル、 ステーブル、 接着剤は不可	リングくぎ φ2.1×長さ38mm以上(軒天換気材を使用する場合はφ2.15mm以上) または ねじ φ3.5×長さ38mm以上	※リングくぎ・ねじはステンレスまたは防錆処理したものを使用してください。
換気金物(指定)	BK45(軒中央部に取り付けるタイプ)	本体品番:EQBK4501-1W
通気見切り金物 (指定) ※日本化学産業(株)製品	BM2(軒元に取り付けるタイプ) 別途ご購入ください。	日本化学産業(株) 建材本部 :TEL 048-931-0252 お問合せ先 大阪支店 :TEL 06-6910-2030 名古屋支店:TEL 052-261-0735
軒天換気材 (指定) ※城東テクノ(株)製品	軒天換気材(軒先・壁際タイプ) 別途ご購入ください	お問合せ先

製品の詳細については、お近くの城東テクノ営業所へお問合せ下さい。
Joto ネットワーク



ダイライト軒天45

施工上の留意点

⚠ 設計および施工上の注意点

・ダイライト軒天45の準耐火構造認定は木造下地専用です。鋼製下地では準耐火構造認定が使用できません。鋼製下地への施工は、別に定める「鋼製下地での施工方法」を参照してください。

・ダイライト軒天45は「軒裏準耐火構造(45分)」の認定を取得しています。軒裏準耐火構造(45分)とする場合には、各認定書の材料・寸法・構成などを守ってください。

・化粧シート品は化粧面を汚したり、キズをつけないように注意してください。

❗ ダイライト軒天45をカットする場合は、鋸刃は超硬チップソーとし、防塵フード付き丸鋸を使用してください。

❗ カットの際には防塵マスクを着用してください。また、カットの際に出る粉塵等が肌に付き、かゆくることが、まれにありますので長袖の服を着用してください。万一かゆくなった場合は、かかずに水で洗い流してください。

・上向きで作業する場合は、目にごみが入らないように保護メガネを着用してください。

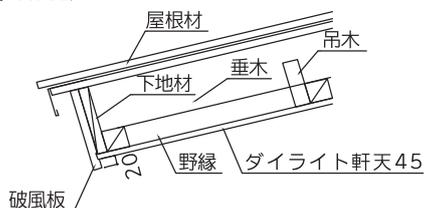
・ダイライト軒天45をくぎ留めする場合は、表面にキズやかなづちの跡が付かないように注意してください。

・自動くぎ打ち機を使用するとダイライト軒天45の表面にキズが付く場合があります。自動くぎ打ち機メーカーの取扱説明書をよく読んでうえで、エア圧力、ダイライト軒天45への押し付けを調整してください。

⊘ 軒天井ボード以外(破風板・鼻隠し・外壁・ベランダ床等)には使用しないでください。

■ダイライト軒天45軒先納まり図

[1] 軒先部



・雨水などが伝わったり、高温や多湿などの環境にさらされると、シミや汚れ、カビの発生、変質または製品の脱落を招く恐れがあります。

⊘ 直接雨などの水がかかる部位へは使用しないでください。

⊘ ダイライト軒天45の軒先側木口は鼻隠し・破風板・軒換気材に突きつけ(鼻隠し出20mm以上)、または飲み込みで施工してください。

⊘ ダイライト軒天45は、軒先部から冰雪・ツララなどがダイライト軒天45まで廻り込む恐れがある箇所へは施工しないでください。

⊘ 高温にさらされる部位・常時多湿になる部位などの特殊な環境にさらされる部位へは使用しないでください。

❗ ダイライト軒天45の木口が露出する部分は、水切りなどを使用して納めてください。

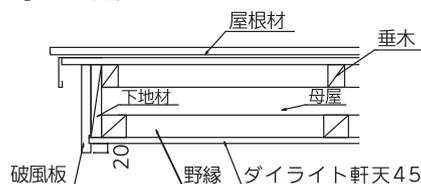
・ダイライト軒天45の長辺を切り落とす場合や、出隅・入隅部に施工する際は、施工する前に面取り・補修をおこなってください。ダイライト軒天45の表面にキズを付けないよう、表面を市販のマスキングテープなどで保護してから面取りしてください。

現場塗装品 ⇒ 面取り

化粧シート品 ⇒ 面取り後、別売のタッチアップペン又は化粧シート品用塗料にて塗装

❗ 必ず施工前に面取り・補修をおこなってください。施工後に行くと外観を損なう場合があります。

[2] けらば部



■使用工具一覧

- | | | |
|------------------|---------------|-----------|
| ・ かなづち | ・ 十字ビット(2番) | ・ ボードかんな |
| ・ ポンチ | ・ 防塵フード付き丸鋸 | ・ パテ用ヘラ |
| ・ 自動釘打ち機(使用する場合) | ・ 鋸刃(超硬チップソー) | ・ コーキングガン |
| ・ ドライバー | ・ 手のこ | ・ 巻尺 |
| ・ インパクトドライバー | ・ 面取りかんな | ・ さしがね |

■使用禁止工具

- | | |
|-------|-----------|
| ・ 墨つぼ | ・ チョークライン |
|-------|-----------|

ダイライト軒天45

施工方法

-  この施工説明書の内容をよく読んでから施工してください。
-  ダイライト軒天45は「軒裏準耐火構造(45分)」の国土交通大臣認定を受けています。認定を使用して準耐火構造にする場合は、認定書も合わせて必ずご確認ください。認定書の写しはホームページからダウンロードできます。トップページから「業者様向けメニュー」に進んでください。
URL <https://www.daiken.jp/>

材料表

※本表によらない場合でも、各認定書別添の内容は遵守してください。

軒裏45分準耐火構造 QF045RS - ****	0298	0300	0299	0356-1
換気部材	なし	通気見切り金物 BM2(発泡材付き) (日本化学産業(株))	換気金物 BK45	軒天換気部材(軒先・壁際タイプ) (城東テクノ(株))
	準耐火構造認定ごとに使用できる換気部材が異なります。 換気部材の詳細は各メーカーにお問合せください。			
軒天材	ダイライト軒天45 現場塗装品 / 化粧シート品 ※ダイライト軒天30、ダイライト軒天羽目板は使えません。			
	留め付け	連結リングネイル (Φ2.2×L40mm、頭径5mm、SUS304) 木下地用カラービス (Φ3.8×L41mm、ラッパ頭、SUS410) 留め付け材の間隔: 200mm以下		
	目地部材	以下のジョイナーが使えます H型ジョイナー、又はT型ジョイナー 材質: 鋼製、又はステンレス鋼製		以下のジョイナーが使えます H型ジョイナー 材質: 鋼製、又はステンレス鋼製
野縁	材質	以下の日本農林規格の品質を満足する木材 ・製材 ・単板積層材 ・集成材 ・枠組壁工法構造用製材 ・枠組壁工法構造用たて継ぎ材		・製材・集成材(日本農林規格) ・平成12年建設省告示第1452号の 第6号に規定する無等級材、 又は第7号に規定する木材
	寸法	45×45mm以上(204材:38×89mmも可) かつ ダイライト軒天45目地部は45×90mmの断面寸法以上、又は二本組み		
	間隔	軒の出方向 500mm以下、 軒の幅方向 455mm以下		
	留め付け	Φ3.05×L65mm以上のくぎ又はねじ くぎ/ねじの間隔: 455mm以下		
	補強	軒の出500mm以上の場合に、30×30mm以上の吊木を設けてください。 吊木の間隔: 軒の出方向500mm以下、 軒の幅方向1000mm以下		
鼻隠し下地	指定なし		厚さ24~30mmの木材 たる木1本当たり2本以上の Φ2.75×50mm以上のくぎ又は ねじで留付けてください。	

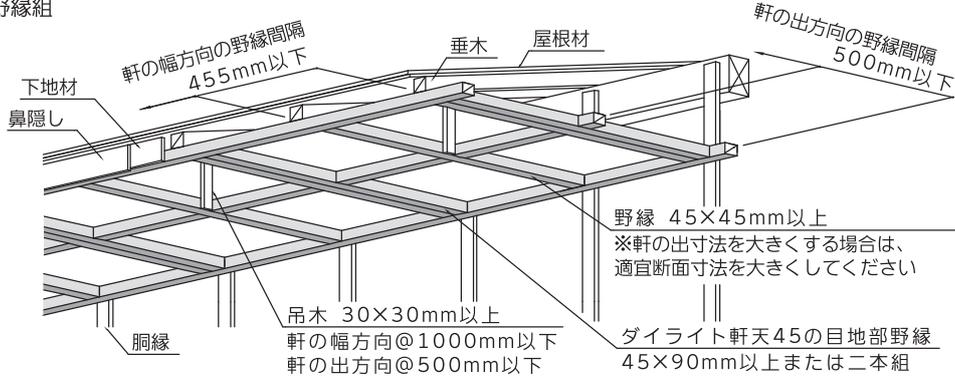
-  軒の出寸法を大きくする場合は、適宜野縁の断面寸法を大きくしてください。
くぎ打ち、ねじ打ちでの野縁のたわみが少なくなり、施工しやすくなります。
-  グリーン材(未乾燥材)野縁は使用しないでください。
施工後に変形する可能性が高く、ダイライト軒天45の目透き、変形の原因になる場合があります。
-  野縁に、ラワン材のように腐朽しやすく割れやすい材質の樹種を使用した場合、
製品の剥落事故などを招く恐れがあるので、絶対に使用しないでください。
-  野縁は不陸がないように施工してください。不陸がある状態でダイライト軒天45を施工した場合、
ダイライト軒天45が割れる恐れがあります。
-  補強用吊木の留め付け材については、Φ2.75×L50mm以上のくぎ又はねじを使用してください。

ダイライト軒天45

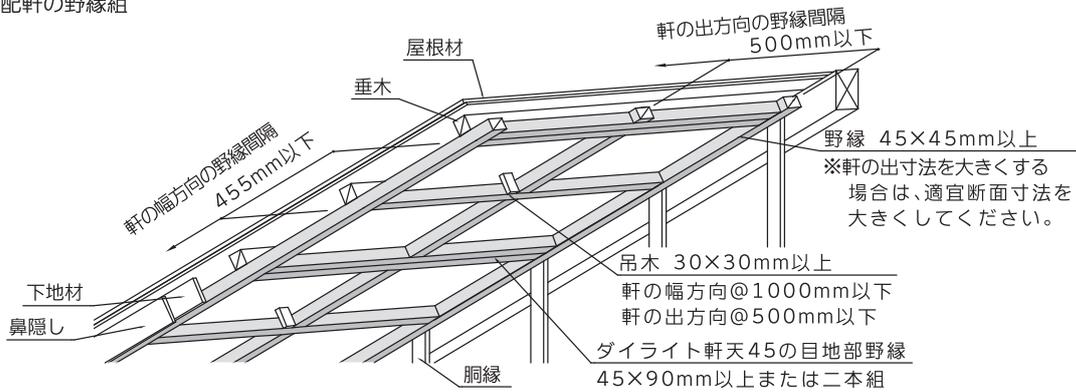
施工方法

- BM2を使う場合
- BK45を使う場合
- 軒裏換気部材を使わない場合
- 準耐火構造認定を使わない場合

■水平軒の野縁組



■勾配軒の野縁組

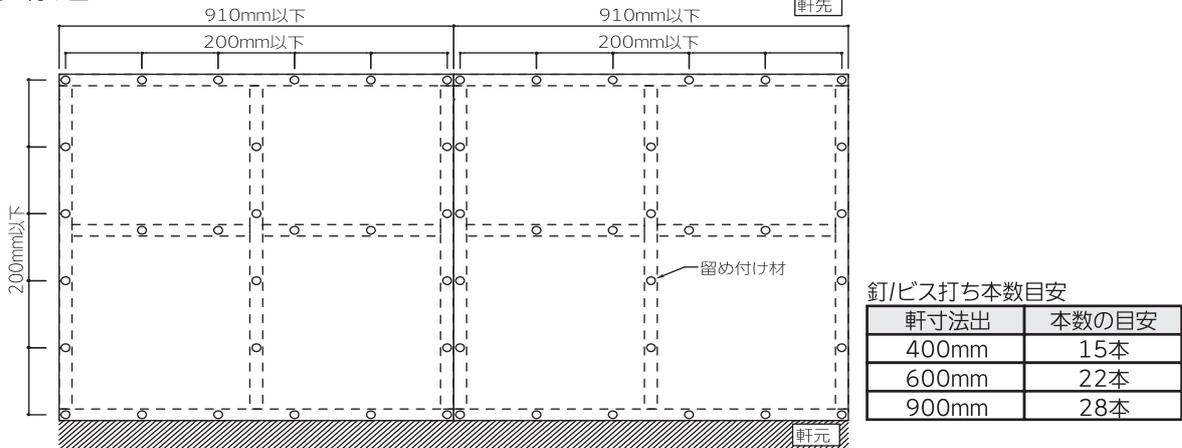


勾配軒で野縁を垂木に直接留め付ける場合は吊木を省略できます。

■軒の出寸法の最小最大

換気部材の条件	認定番号	最小	最大
BM2を使う場合	QF045RS-0300	120mm	2,000mm
BK45を使う場合	QF045RS-0299	53mm	2,000mm
軒裏換気部材を使わない場合	QF045RS-0298	55mm	2,000mm
準耐火構造認定を使わない場合	—	任意	任意

■留め付け図



- ❗ ダイライト軒天45の中央部は、野縁の位置をよく確認し、確実に野縁に留め付けてください。マーキングする場合は、マーキング跡が残らないように工夫してください。施工後に消せない可能性があります。

ダイライト軒天45

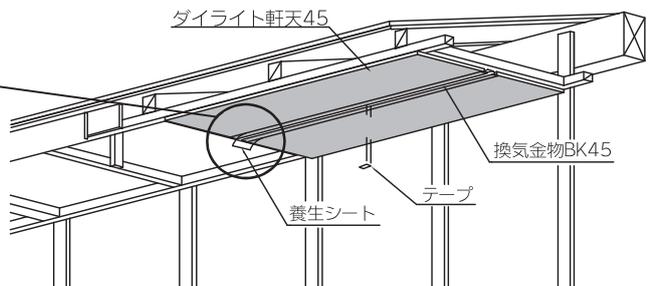
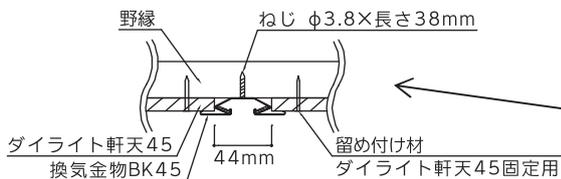
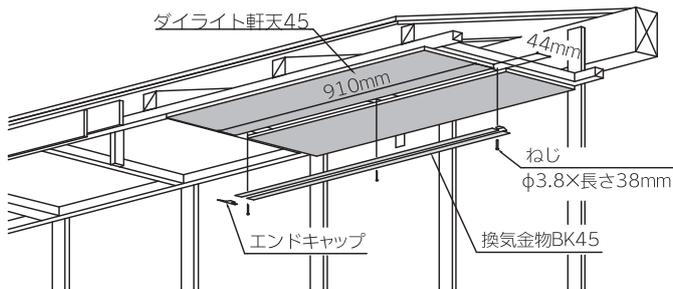
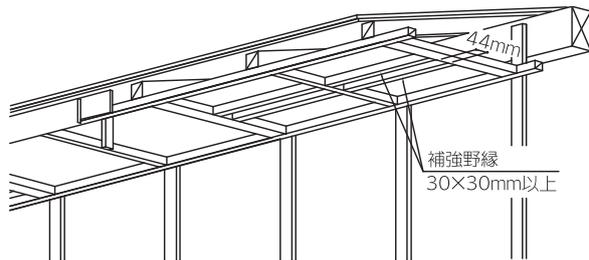
施工方法

- 換気金物BK45本体は以下の要領で施工してください。
 ！ 詳細な金物の施工方法については、換気金物BK45に同梱されている施工説明書を参考にしてください。

⚠ 準耐火構造(QF045RS-0299)には換気金物BK45しか使用できません。

換気金物BK45	
長さ	910mm
換気面積	162cm ² /m 148cm ² /本

- 換気金物BK45を使用する場合は、あらかじめ44×910mmのスペースを開け、ダイライト軒天45を野縁に留め付けてください。換気金物BK45は、付属のねじ(φ3.8×長さ38mm)で縦野縁に留め付けてください。
- 2本以上並べて取り付ける場合は、突き付け部分のエンドキャップを取り外してください。
- 軒天材に吹き付け塗装する場合は塗装後に養生シートを剥がしてください。



⚠ 化粧シート品では、下側サネがBK45と干渉します。干渉する部分のサネをカットしてください。

■換気金物BK45 品番・サイズ表

換気金物	品番	サイズ	入数
BK45 <アベリ-初付>	EQBK4501-1W	910mm	3本/梱

- 通気見切り金物BM2(日本化学産業(株)製)本体は以下の要領で施工してください。

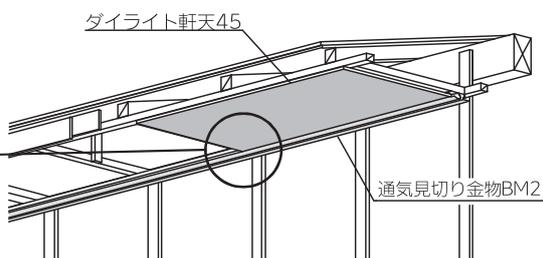
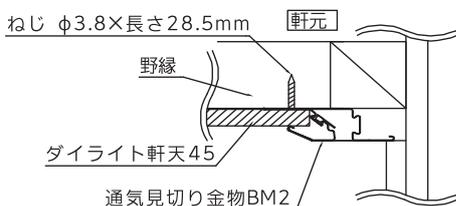
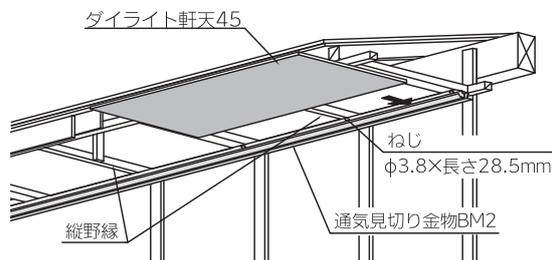
！ 詳細な金物の施工方法については、通気見切り金物BM2に同梱されている施工説明書を参考にしてください。

⚠ 準耐火構造(QF045RS-0300)には“発泡材付き”の通気見切り金物BM2しか使用できません。
 ※ 納め部材については日本化学産業(株)のカタログをご覧ください。

通気見切り金物BM2	
長さ	1,820mm
換気面積	100cm ² /m 182cm ² /本

日本化学産業(株)
 お問い合わせ先
 建材本部 :048-931-0252
 大阪支店 :06-6910-2030
 名古屋支店:052-261-0735

- 通気見切り金物BM2を使用する際の外壁との取り合い部は軒天材勝ちで納めてください。
- 通気見切り金物BM2は、専用ねじ(φ3.8×長さ28.5mm)で縦野縁に留め付けてください。
- 連続して金物を施工する場合や出隅部分、入隅部分等については専用の部材を使用してください。
- ダイライト軒天45を施工する際には、通気見切り金物にしっかりと差し込んでから、リングくぎまたはねじで留め付けてください。



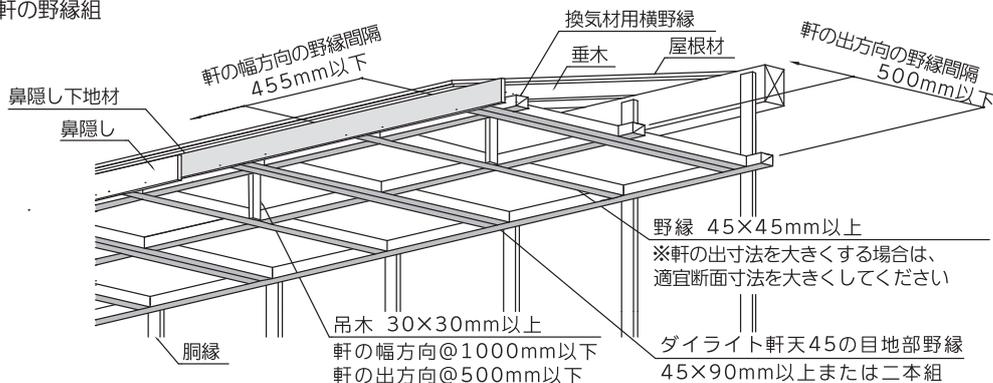
ダイライト軒天45

施工方法

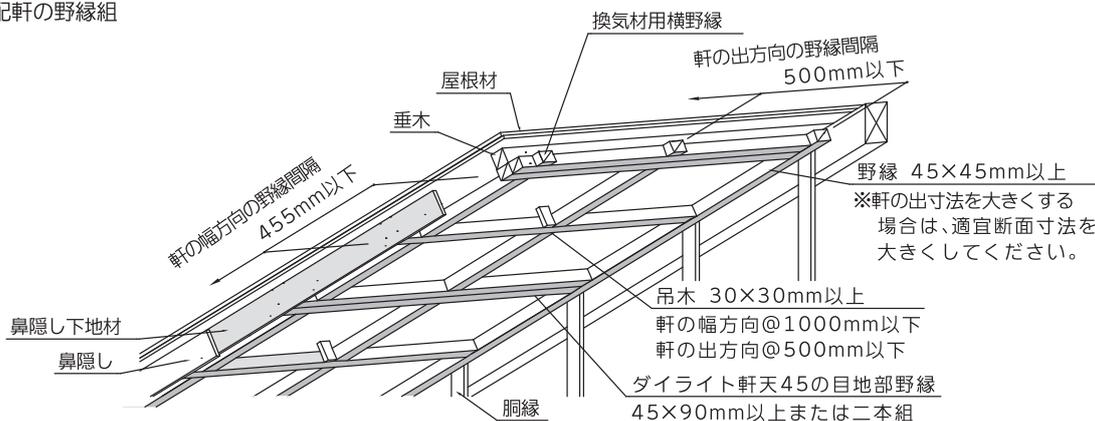
・防火対応 軒天換気材(軒先・壁際タイプ)を使う場合

⊘ 軒天換気材(城東テクノ(株)製)を使用する場合は、軒先に野縁を施工しないでください。
野縁を施工すると換気孔が塞がれ所定の換気性能が得られません。

■水平軒の野縁組



■勾配軒の野縁組



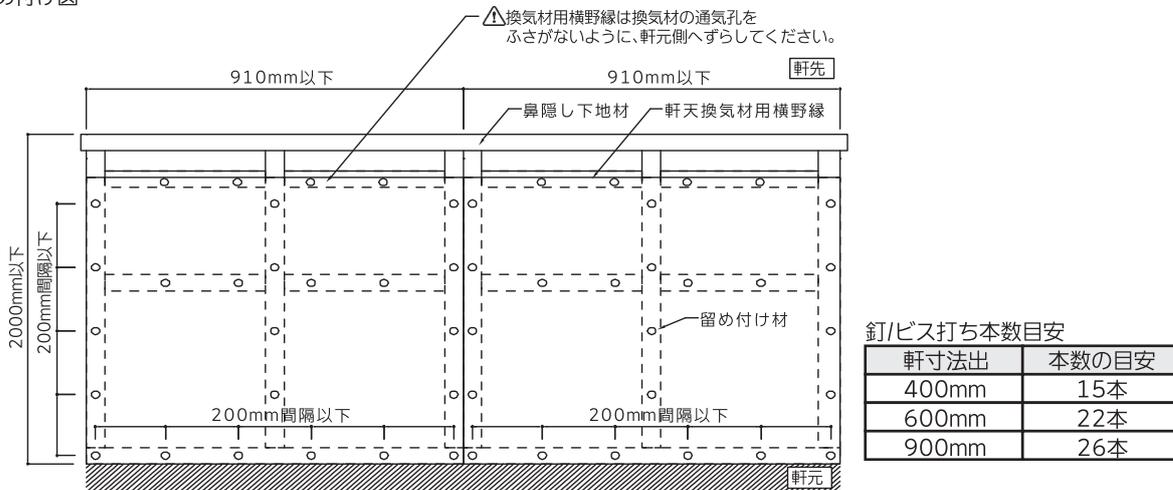
勾配軒で野縁を垂木に直接留め付ける場合は吊木を省略できます。

■軒の出寸法の最小最大

換気部材の条件	認定番号	最小	最大
軒天換気材(軒先・壁際タイプ)	QF045RS-0356-1	100mm	2,000mm

※軒の出が250mm未満の場合は換気材用横野縁を省略できます。

■留め付け図



⊘ ダイライト軒天45の中央部は、野縁の位置をよく確認し、確実に野縁に留め付けてください。
マーキングする場合は、マーキング跡が残らないように工夫してください。
施工後に消せない可能性があります。

ダイライト軒天45

施工方法

- 軒天換気材(軒先・壁際タイプ)(城東テクノ(株)製)本体は以下の要領で施工してください。

※使用可能地域、使用可能部位については、城東テクノ(株)にお問合せください。



- ❗ 詳細な金物の施工方法については、軒天換気材に同梱されている施工説明書を参考にしてください。
- ⚠ 準耐火構造(QF045RS-0356-1)には軒天換気材(軒先・壁際タイプ)しか使用できません。

- ⚠ 軒天換気材を使用する場合は厚さ24~30mmの鼻隠し下地材を使用し、換気孔を塞がないように注意して施工してください。

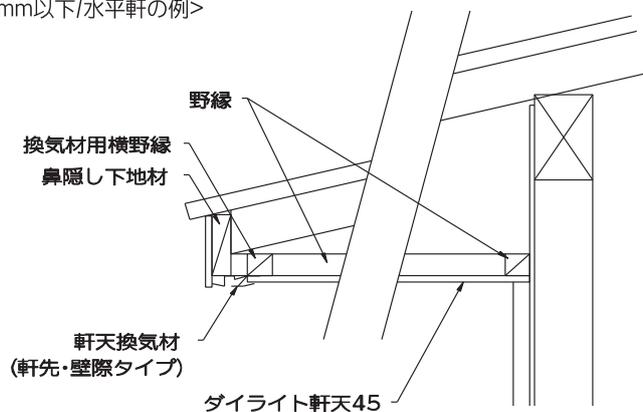
- ⊘ 軒天換気材を軒先に施工する場合、軒先に野縁を施工しないでください。野縁を施工すると換気孔が塞がれ所定の換気性能が得られません。

軒天換気材(軒先・壁際タイプ)	
長さ	1,820mm
換気面積	101cm ² /m

※ 納め部材については城東テクノ(株)のカタログをご覧ください。

- ・ 連続して軒天換気材を施工する場合や出隅部分、入隅部分等については専用の部材を使用してください。
- ・ ダイライト軒天45を施工する際には、軒天換気材にしっかりと差し込んでから、リングくぎまたはねじで留め付けてください。

<軒の出500mm以下/水平軒の例>



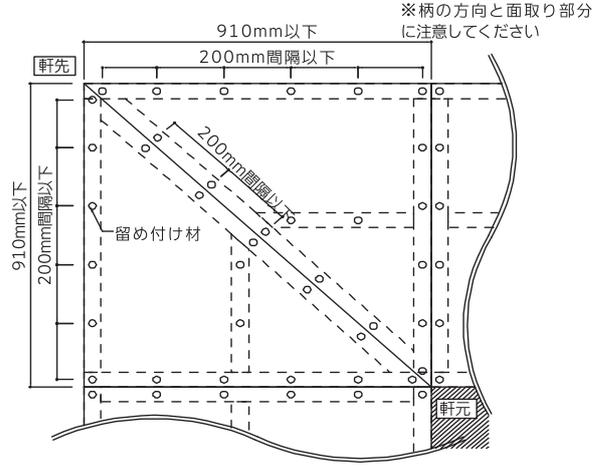
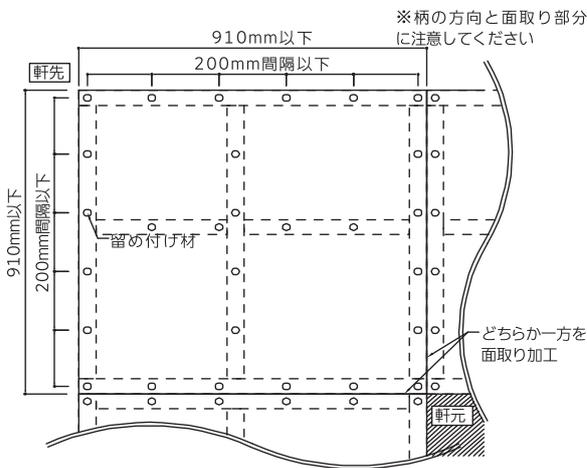
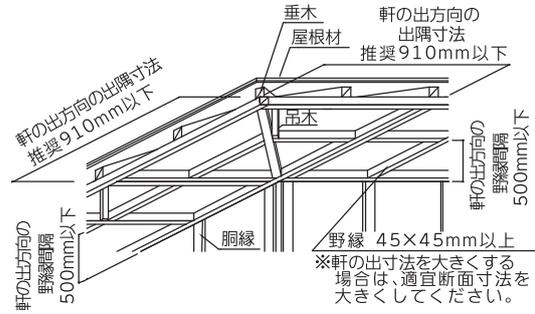
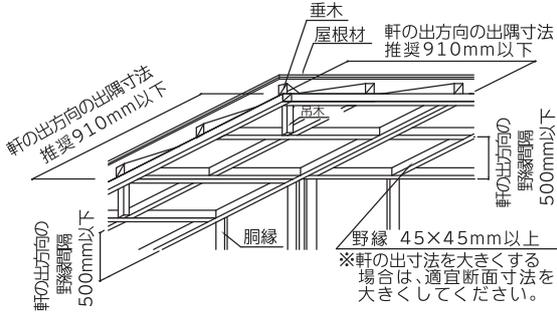
ダイライト軒天45

施工方法

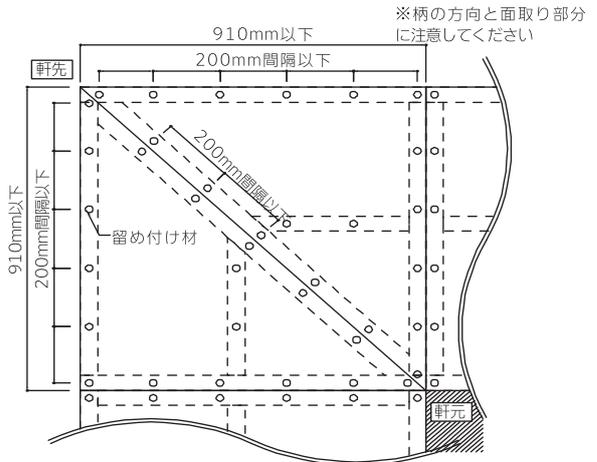
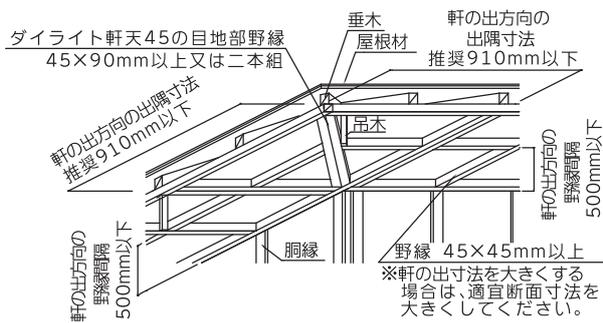
■出隅の野縁組と留付け図

- 出隅部分については、軒の出が910mm以下での施工を推奨します。
軒の出が910mmを超えると、ダイライト軒天45が一枚張りできずに、継ぎ手目地ができます。

出隅部を一枚で納める場合



出隅部を突きつけて納める場合



ダイライト軒天45

施工方法

- **ダイライト軒天45は、リングくぎまたはねじで野縁に留め付けてください。**

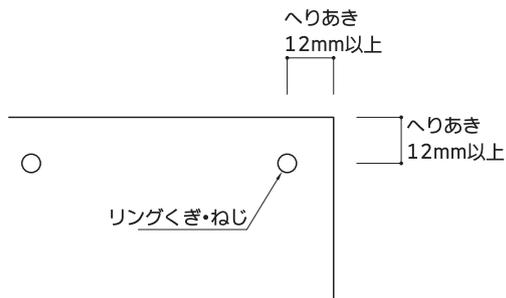
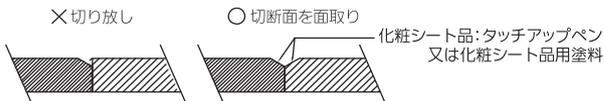
留め付け材 ⇒ 連結リングネイル
木下地用カラービス
現場調達の場合は、P2に記載する
材質・形状・寸法に適合するもの

間隔 ⇒ 200mm以下

ダイライト軒天45の長辺を切り落とす場合や、出隅・
入隅部に施工する際は、施工する前に面取り・補修を
おこなってください。

ダイライト軒天45の表面にキズを付けないよう、表面を
市販のマスキングテープなどで保護してから面取りして
ください。

現場塗装品 ⇒ 面取り
化粧シート品 ⇒ 面取り後、別売のタッチアップペン
又は化粧シート品用塗料にて塗装



⊘ 刃つきのねじ(フレキシビ)は使用しないでください。

⊘ フィニッシュネイル、ステープル、接着剤での留め
付けはできません。

⚠ 市販のリングくぎ・ねじは、ステンレスまたは防錆処理
したものを使用してください。

⚠ ダイライト軒天45をカットする場合は、鋸刃は超硬
チップソーとし、防塵フード付き丸鋸を使用してください。

⚠ カットの際には防塵マスクを着用してください。
また、カットの際に出る粉塵が肌に付き、かゆくなること
がまれにありますので長袖の服を着用してください。
万一かゆくなった場合は、かかずに水で洗い流して
ください。

⚠ カット後のダイライト軒天45の木口は鋭くなりますので、
ケガがしないように手袋等を着用して取扱ってください。

⚠ 化粧シート品は化粧面に汚れやキズをつけないように
注意してください。

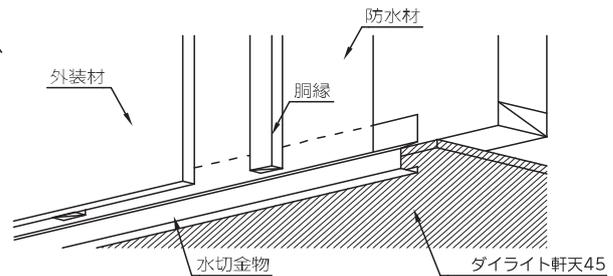
⚠ 留め付けのへりあき寸法は12mm以上確保して
ください。ダイライト軒天45が割れる恐れがあります。

⚠ 留め付けの際は、くぎ頭またはねじ頭が1mm以上
めり込まないように注意してください。めり込み過ぎ
た場合は、近くに増し打ちしてください。
めり込んだねじ頭を逆回転で面一まで戻した場合、
周囲のダイライト軒天にバリが出たり、垂れ下がったり
する恐れがあります。

ダイライト軒天45

施工方法

- 水切りを使用する場合は以下の点に注意してください。
 - ・ダイライト軒天45をバルコニーの天井等に使用する場合は、水切りを入れてダイライト軒天45の裏側に水が回らないようにしてください。



- 現場塗装品の塗装は以下の方法で行ってください。
 - ・目地部は埋めずにそのまま塗装してください。
(下地材の動きなどで目地割れする可能性があります)
 - ・塗料は水性の合成樹脂塗料(アクリルエマルジョン等)を使用し、アクリル樹脂系の現場シーラーを塗布した後に、塗料メーカーの標準施工法に従い塗布してください。
 - ・準耐火構造とする場合は認定書別添の内容に準じてください。認定書別添の入手方法は本書の表紙をご覧ください。

- コーキングは以下の要領で施工してください。
 - ・水が回り込む恐れのある場合は、軒先・軒元部分へコーキング材を施工してください。
 - ・コーキング材は市販品の外装用を使用し、コーキング材メーカーの標準施工法に従ってください。

- くぎ頭、ねじ頭、傷が目立つ場合・気になる場合は以下の方法で補修してください。

1. 現場塗装品の場合

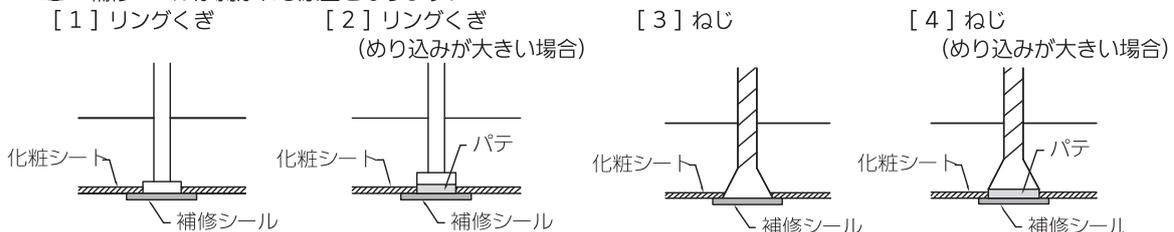
- ・くぎ頭またはねじ頭は、パテ処理してから、塗装してください。
- ・パテは必ず市販品の外装用を使用し、パテメーカーの標準施工法に従ってください。

⊘ 溶剤系塗料は色ムラ(吸い込みムラ)になりやすいため、使用しないでください。

2. 化粧シート品の場合

- ・くぎ頭またはねじ頭は、補修シールで補修してください。
(頭径が大きく目立つ場合や、めり込みが大きい場合は、必要に応じてパテ埋めしてください)
- ・パテは必ず市販品の外装用を使用し、パテメーカーの標準施工法に従ってください。

❗ 補修シールを貼る際には、粉塵や汚れを取り除いてから行ってください。
補修シールが剥がれる原因となります。



参考:有効換気面積と換気部材の必要使用量

* 天井面積50.05㎡の場合

	BM2	BK45	軒天換気材(軒先・壁際タイプ)
本体長さ	1.82m	0.91m	1.82m
有効換気面積	0.01㎡/m	0.0148㎡/本	0.0101㎡/m
換気基準(口)*	11本	14本	11本
換気基準(ホ)*	4本	4本	4本

住宅金融支援機構 小屋裏換気基準(口)

軒裏に換気口(吸排気両用)を設ける場合は、換気口の面積の合計を天井面積の合計の1/250以上とする。

例) 天井面積が50.05㎡の場合

有効換気面積=50.05×1/250=0.2002㎡以上

小屋裏換気基準(ホ)

軒裏に換気口を設け、かつ棟部に換気口を設ける場合、吸気口面積を天井面積の1/900以上とし、排気口面積を1/1600以上とする。

例) 天井面積が50.05㎡の場合

有効換気面積=50.05×1/900=0.05562㎡以上

ダイライト軒天45

施工方法

■ダイライト軒天45 品番・サイズ表

現場塗装品	品番	サイズ(厚さ、幅×長さ) 基本重量	入数
<目止め処理>	EQ1401-1	12mm、910×1,820mm	40枚/ロット
	EQ1402-1	約12kg/枚	4枚/梱

化粧シート品	品番	サイズ(厚さ、幅×長さ) 基本重量	入数
<クリアベージュ柄>	EQ1404-1MJ・EQ1405-1MJ	12mm、910×1,820mm 約12kg/枚	4枚/梱・2枚/梱
<ライトオーカー柄>	EQ1404-1MA・EQ1405-1MA		
<ティーブラウン柄>	EQ1404-1MT・EQ1405-1MT		
<トープグレー柄>	EQ1404-1MG・EQ1405-1MG		
<ダルブラウン柄>	EQ1404-1MW・EQ1405-1MW		
<オフブラック柄>	EQ1404-1MK・EQ1405-1MK		

■補修部材 品番表

補修部材	品番	容量・枚数	入数
化粧シート品用塗料 100g	EQ1391-2■■■	100g/本	1本/梱
化粧シート品用塗料 500g	EQ1391-3■■■	500g/本	1本/梱
タッチアップペン	EQ1392-1■■■	13ml/本	1本/梱
補修シール	EQ1393-1■■■	528枚/梱	3シート/梱 (176枚/シート) 下地間隔200mmで 製品約25枚分

※■■■:MJ<クリアベージュ色>、MA<ライトオーカー色>、MT<ティーブラウン色>、MG<トープグレー色>、MW<ダルブラウン色>、MK<オフブラック色>

■施工部材 品番表

施工部材	品番	容量・サイズ	入数
換気金物 BK45 <アイボリーホワイト色>	EQBK4501-1W	910mm	3本/梱
連結リングネイル	EQ1390-1■■■	φ2.2×40mm	2巻/梱 (200本/巻) 下地間隔200mmで 製品約20枚分
鋼製下地用カラービス	EQ1394-1■■■	φ3.5×25mm ラツパ頭	1,000本/梱 下地間隔303mmで 製品約70枚分
木下地用カラービス	EQ1395-1■■■	φ3.8×41mm ラツパ頭	500本/梱 下地間隔200mmで 製品約25枚分

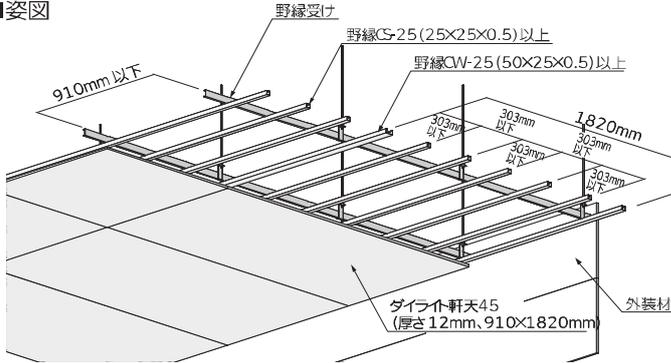
※■■■:MJ<クリアベージュ色>、MA<ライトオーカー色>、MT<ティーブラウン色>、MG<トープグレー色>、MW<ダルブラウン色>、MK<オフブラック色>

ダイライト軒天45

鋼製下地での施工方法

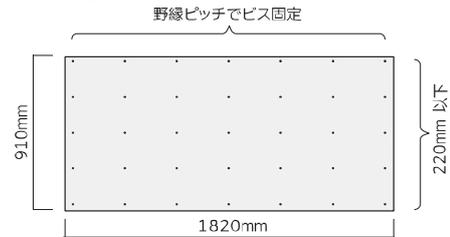
ダイライト軒天45を鋼製下地へ施工する場合は、以下の施工方法に従ってください。
鋼製下地での準耐火構造は取得していません。イ準耐火には使用できませんのでご注意ください。

■ 姿図



	不燃材料認定番号
	ダイライト軒天45
現場塗装品	NM-4449
化粧シート品	NM-4448

■ ビス打ち図



■ 材料

野縁		ビス
CS-25 25×25×0.5mm	CW-25 50×25×0.5mm	ステンレス製 タッピンネジ φ3.5×L25mm以上

耐風圧仕様にする場合は、鋼製下地メーカーの耐風圧仕様に準じてください。

鋼製下地用カラービス	品番	サイズ	入数
〈クリアベージュ色〉	EQ1394-1MJ	φ3.5×25mm ラッパ頭	1,000本/梱 下地間隔303mmで 製品約70枚分
〈ライトオーカー色〉	EQ1394-1MA		
〈ティープラウン色〉	EQ1394-1MT		
〈トープグレー色〉	EQ1394-1MG		
〈ダルブラウン色〉	EQ1394-1MW		
〈オブブラック色〉	EQ1394-1MK		

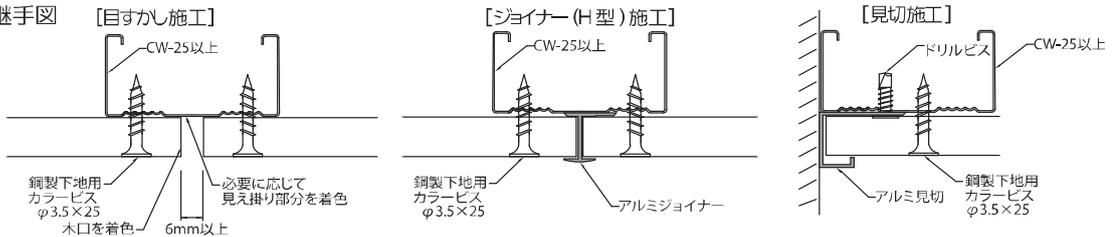
■ 施工要領

- 野縁受けを910mm以下のピッチで配置する。
- 鋼製野縁を303mm以下のピッチで配置する。この時ダイライト軒天45の目地部はダブルサイズ(50×25×0.5mm)以上とする。鋼製野縁下面に合わせてレベル出しを行う。
- ダイライト軒天45の短辺方向(切り放し小口の方向)と野縁方向を合わせて位置決めし、短辺方向に対し220mm間隔(製品幅910mmに対し5本均等)以下で鋼製野縁ごとにビス打ちする。着色等の現場加工は施工前に実施しておく。
- ビス頭をパテ、補修塗料、化粧シート品用塗料、補修シールで補修する。(タッチアップペンで補修すると目立つ場合がありますので事前に端材で確認の上、ご使用ください。)

注意

- ダイライト軒天45を製品サイズのまま施工する場合、製品には多少の寸法誤差がありますので現場の状況によっては、たて継ぎの際に突付け納めの短辺目地に若干の間隔ができた、目透かし納めの際間量がばらついて見える場合があります。目地のズレを確認・修正しながら貼り進めてください。
- たて継ぎ部はジョイナー施工(H型、P.14参照)、目透かし施工(6mm程度以上の目透かしと短辺小口・目地底(必要に応じて)を着色)、などの対応を取ってください。
- ダイライト軒天45 化粧シート品は一枚一枚色柄に特有の変化があります。仮並べなどを行い、色柄のバランスをご確認のうえ、施工してください。
- 現場の環境によっては「ラスマーク」が発生する場合があります。
- 温湿度により鋼製下地とダイライト軒天45に寸法変化が起こる可能性があります。収縮側に動くとも隙が発生し、伸長側に動くとも突合せがきつくなり、波打っているように見えることがあります。

■ 短辺継手図



※縦継ぎの際のズレは、短辺目地中で調整しなから施工してください。

■ 注意事項

! 耐風圧仕様にする場合の鋼製下地は、鋼製下地メーカーの耐風圧仕様から選択し、設計耐風圧表から適切なビスピッチを選択してください。

■ 設計耐風圧表(化粧シート品)

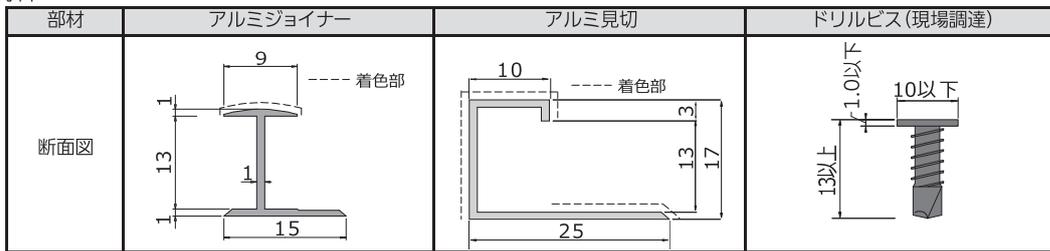
設計耐風圧 [N/m ²]	野縁間隔				
	ダイライト軒天45				
	@202mm	@228mm	@228mm	@303mm	@303mm<
ビスピッチ					
@90mm (11本)	6419	5617	4929	4241	×
@110mm (9本)	5273	4585	4012	3553	×
@150mm (7本)	3897	3439	2980	2636	×
@220mm (5本)	2636	2292	2063	1834	×
@220mm<	×	×	×	×	×

ダイライト軒天施工部材

施工方法

! ダイライト軒天施工部材を木製下地へ施工した場合、準耐火構造認定は使用できませんので、ご注意ください。

■材料



アルミジョイナー	品番	サイズ	入数
<クリアベージュ色>	EQ1396-1MJ	2,730mm	1本/梱
<ライトオーカー色>	EQ1396-1MA	2,730mm	1本/梱
<ティーブラウン色>	EQ1396-1MT	2,730mm	1本/梱
<トープグレー色>	EQ1396-1MG	2,730mm	1本/梱
<ダルブラウン色>	EQ1396-1MW	2,730mm	1本/梱
<オフブラック色>	EQ1396-1MK	2,730mm	1本/梱

アルミ見切	品番	サイズ	入数
<クリアベージュ色>	EQ1397-1MJ	2,730mm	1本/梱
<ライトオーカー色>	EQ1397-1MA	2,730mm	1本/梱
<ティーブラウン色>	EQ1397-1MT	2,730mm	1本/梱
<トープグレー色>	EQ1397-1MG	2,730mm	1本/梱
<ダルブラウン色>	EQ1397-1MW	2,730mm	1本/梱
<オフブラック色>	EQ1397-1MK	2,730mm	1本/梱

■施工要領

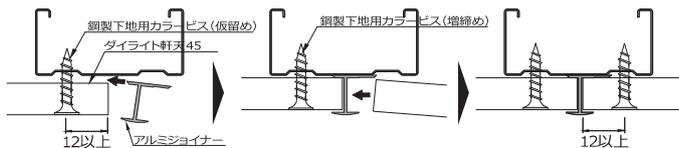
! アルミジョイナー・アルミ見切を使用する箇所の野縁は、ダブルサイズ以上としてください。

- ・ 鋼製野縁: 50×25×0.5mm以上
- ・ 木製野縁: 見付60×30mm以上

! 軒天材をカラービスで留付ける際は、アルミジョイナー・アルミ見切と干渉しないようにしてください。

●アルミジョイナー

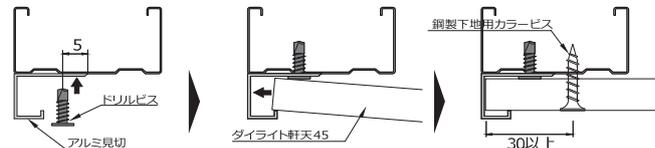
- ・ 軒天材と野縁の間に、アルミジョイナーを差し込めるように、鋼製下地用カラービスで、軒天材を仮留めしてください。
- ・ アルミジョイナーを差し込み、鋼製下地用カラービスで増締めした後、もう一方に軒天材を差し込み、留付けてください。



<アルミジョイナー 施工図>

●アルミ見切

- ・ ドリルビスで野縁に910mm以下の間隔で留付け、軒天材を施工してください。

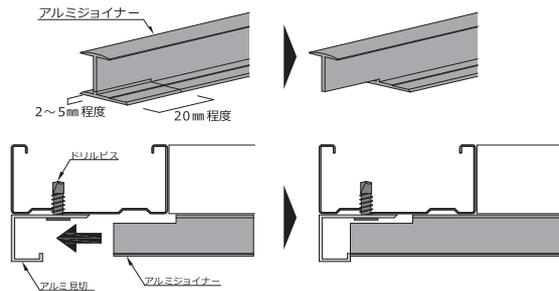


<アルミ見切 施工図>

! ドリルビスは、頭高さの低いものを使用してください。頭高さの高いものを使用した場合、軒天材がビス頭と干渉し見切りに差し込めない場合があります。

●部材取り合い部 (ジョイナーと見切が直交する場合)

- ・ アルミジョイナーとアルミ見切の取り合い部は、ジョイナーの下端を手鋸でカットし、納めてください。
- ・ 出隅部は、見切端部を45度に丸鋸でカットし、留め加工で納めてください。

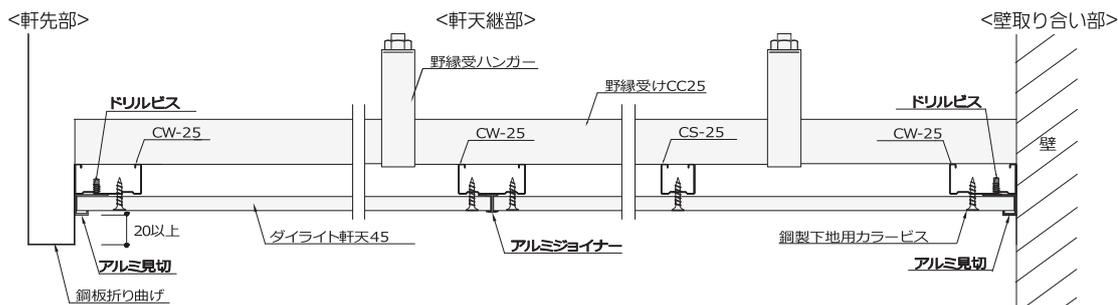


<アルミジョイナー カット図 / 部材取り合い図>

■納まり図

●軒先部・軒天継部・壁取り合い部

- ・ 軒先部は、アルミ見切だけで納めず、金属折板や水切り、破風板などと併せて納めてください。



❗ **ダイライト軒天45化粧シート品は表面に特殊加工を施しています。**
掃除する場合は次のことをご守りください。

- 水洗い・高圧ジェット洗浄・スチーム洗浄しないでください。
表面にシミができる場合があります。

⚠ **物干しフックなどをダイライト軒天45に直接留め付けることはできません。**
建物引渡し後に物干しフックなどを取り付けたい場合は、住宅メーカーにご相談ください。
不用意に取り付けると落下する可能性があります。
また、高所での作業は落下の危険があります。個人で行わずに住宅メーカーにご相談ください。その他、製品の不具合についても、住宅メーカーにご相談ください。

製品の仕様や施工方法に関するお問い合わせは

お客様センター

 **0120-787-505**

受付時間：平日 9:00 ~ 17:00
(土・日・祝日・年末年始・お盆は休みとなります。)

お問い合わせ、カタログ請求は、Webでも！

DAIKENのホームページのご案内

検索

<https://www.daiken.jp/contact/>

メールで写真も送ることができます。



ユーザー登録サービス

商品を未永く安全に使用していただくために、
ユーザー登録をお願いいたします。

ユーザー登録はこちらから(無料)

検索

<https://service.daiken.jp/user/>



*ご登録いただいたお客様情報は、製品安全に関する大切なお知らせや暮らしに役立つ情報をDAIKENからご連絡する際に、ご利用させていただきます。

DAIKEN株式会社

250926-DO-37T

Ver.2.4

(本資料は、予告なく改訂する場合がありますので、ご了承ください)